

(改正後)

第一号様式 (第三条第一項第二号及び第七條第一項第三号)

建築実務経歴書

私は、二級建築士の試験又は免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記のとおり記載し、木造建築士

併せて第三者がこの建築実務経歴書の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する建築実務経歴証明書を提出します。

私は、下記事項が真実で、かつ、正確であることを誓います。

年 月 日 氏 名 _____
(署名)

千葉県知事 様
(指定登録機関)

勤務先等				
勤務先 (部課名まで)	所在地 (番地まで)	在職期間の合計		
		年月～年月	年月数	
		年 月～ 年 月	年 月	
在職期間		地位職名	建築実務の内容 (建築士法施行規則第一条の二)	
年月～年月	年月数			
建築実務の詳細			建築実務経験期間の合計	
			年 月	
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	年月数
			年 月～ 年 月	年 月
実務経験の対象となる業務の内容 (できるだけ具体的に用途・構造・規模・担当業務 等)				
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	年月数
			年 月～ 年 月	年 月
実務経験の対象となる業務の内容 (できるだけ具体的に用途・構造・規模・担当業務 等)				
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	年月数
			年 月～ 年 月	年 月
実務経験の対象となる業務の内容 (できるだけ具体的に用途・構造・規模・担当業務 等)				
※登録機関記載欄				

注 この建築実務経歴書は勤務先 (自営業を含む。) ごとに作成し、今までの建築に関する実務の経歴について受験又は登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、受験すること

(改正前)

第一号様式 (第三条第一項第二号)

建築実務経歴書

学校を卒業してからの建築実務の経歴を年代順に書いてください。
自家営業も含みます。

勤務先 (部課まで)	所在地 (番地まで)	在職期間		地位・職名	職務内容 (できるだけ具体的に)
		年月～年月	年数		
			年 月		
※ 審査		在職年数合計			

(改正後)

ができない場合や登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や受験又は登録が認められない場合もあります。

(改正後)

(改正前)

第一号様式の二 (第三条第一項第三号及び第七条第一項第三号)

(新設)

建築実務経歴証明書

年 月 日

千葉県知事 様
(指定登録機関)

証明者 印
住所・所在地
電話番号
受験申込者又は免許申請者との関係

下記の者が申請した 二級建築士
木造建築士 の受験申込書又は免許申請書に添付された実務経歴
書は、事実と相違しないことを証明します。

記

1 受験申込者又は免許申請者の氏名

2 建築実務経験

建築実務経験期間の合計 年 月

建築実務の内容

注

- 1 この実務経歴証明書は、実務経歴書ごとに作成すること。
- 2 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証明すること。
- 3 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。

(改正後)

(裏)

欠 格 事 由	1 禁錮以上の刑に処せられたことがありますか。 あるときは、その罪及び刑 あるときは、その刑の執行を終わり、又は執行を受けること がなくなつた日	ある□ ない□ 年 月 日		
	2 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯 して罰金の刑に処せられたことがありますか。 あるときは、その罪及び刑 あるときは、その刑の執行を終わり、又は執行を受けること がなくなつた日	ある□ ない□ 年 月 日		
	3 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定によ り一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消され たことがありますか。 あるときは、その日	ある□ ない□ 年 月 日		
	4 建築士法第10条第1項の規定による業務の停止の処分を受 け、その停止の期間中に建築士法第9条第1項第1号の規定に より一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消さ れたことがありますか。 業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止の期 間	ある□ ない□ 年 月 日から 年 月 日まで		
	5 精神の機能の障害により二級建築士又は木造建築士の業務を 適正に行うに当たつて必要な認知、判断及び意思疎通を適切に 行うことができない状態ですか。	はい□ いいえ□		
※審査		※備考		
※ 登録番号	※ 登録年月日	年 月 日	※ 受付番号	

注 数字は、算用数字を用い、※欄は記入せず、□のある欄は該当する□の中にレ印を付けてください。